

母智丘を歩こう！コース

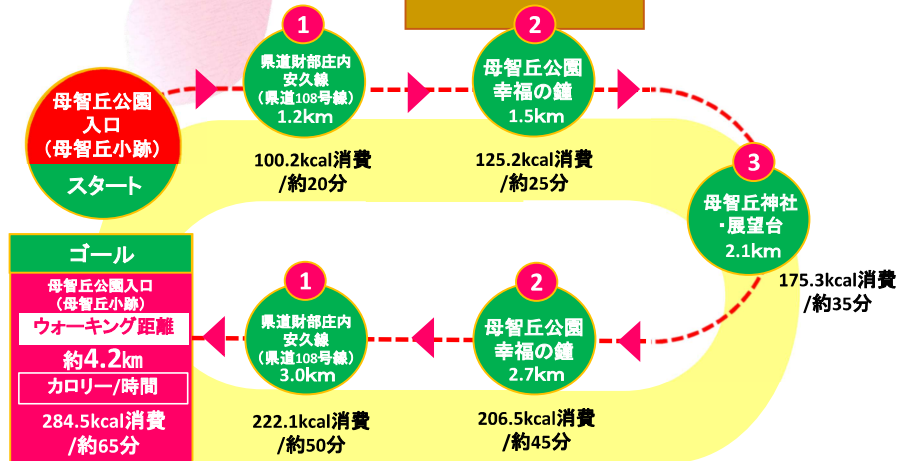
春は名高い桜の名所、見事な桜並木のトンネルが楽しめるコースです。幸福の鐘を鳴らし、母智丘神社で参拝して願い事をする、幸せが訪れる予感がします。展望台に着いたら休憩しながら眺めを楽しみましょう。

コース説明

- 総距離 4.2km
- 時間目安 1時間5分
- 消費カロリー 284.5kcal
- おにぎり 1.7個分



母智丘公園入口をスタートして、母智丘神社・展望台まで歩き、折り返すコースです。桜の咲くころがおすすですが、展望台からの眺望は季節を問わず楽しめます。なだらかな坂道に高低差のある歩道、階段のあるコースですので、必ず準備運動を行ってからウォーキングをはじめましょう。



コラム 熱中症にご注意ください

高温多湿な場所に長くいたり、暑い日に激しい運動をすることなどによって体温が上がりがすぎて体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を熱中症といいます。

- 通気性・吸収性のよい涼しい服装をして、外出時には日傘や帽子で直射日光をさけましょう。
- 「喉が渴いた」と感じるときには、すでに水分不足になっていることが多いです。喉が渴いたと感じる前に水分補給をしましょう。ただし、アルコールは水分補給に適しません。
- 暑くてもしっかり食事をとり、水分やビタミン、ミネラルを補給しましょう。



3 母智丘神社・展望台 (もちおじんじや・てんぼうたい)
明治3年(1870)、上荘内郷地頭の三島通庸(みちつね)が、それまでの小さな祠(ほこら)のある持尾稻荷を再興して、母智丘神社と命名しました。祭神は、豊受姫神(トヨウケヒメノカミ)と大年神(オトシノカミ)です。縁結び、安産、商売繁盛、無病息災などのご利益があります。

2 幸福の鐘 (こうふくのかね)
2人で手を取り合い、願いをこめて鐘を響かせると幸せが訪れると言われていて、大切な人と鳴らしてみよう。

1 県道財部庄内安久線(県道108号線) (けんぶつたからべしやうないやすひせん)
交通量が多いので注意！

桜並木 (さくらなみき)
公園入口から母智丘神社まで約2kmの桜並木のトンネルは圧巻。桜シーズンになると大勢の花見客で賑わいます。

トーチカ跡 (とーちかあと)
昭和18年に、本土決戦のために作られました。西飛行場を空爆する米軍機を迎え撃っていたと思われます。終戦直後、誰かがこのトーチカの上に田の神を据えました。現在も眼下に広がる水田を見守っています。

母智丘公園入口 (母智丘小跡) **スタート** **ゴール**

その他: 陰陽石(巨石あり)、母智丘配水池、290段の階段、九州沖縄農業研究センター、母智丘公園、ステージ(7月下旬に夏まつり開催)、折り返し地点、トイレ、休憩できる場所、給水できる場所、駐車場

地域の資源やイベントを知ろう！

<p>戦争遺跡群 (せんそういせきぐん)</p> <p>横市地区には、トーチカ跡・都城航空機乗員養成所碑・特別攻撃隊出撃の地など戦争遺跡が数多く残っています。ここで起きた戦争の歴史を静かに伝え続けています。</p>	<p>脇穴遺跡公園 (ひじあないせきこうえん)</p> <p>南九州を代表する遺跡として評価が高い公園です。当時の稲作文化や米づくりの歴史を知ることができる説明板やウォーキングマップ、トイレ、芝生広場などが設置されています。</p>	<p>母智丘通線の桜並木</p> <p>春には、都原町から母智丘公園に続く桜並木が咲き誇り、市内有数の名所となっています。</p>
--	---	--